

平成31年第1回燕市議会定例会

一般質問日程表

質問日		質問者		質問方式	
				一括質問	一問一答
3月 1日(金)	午後	1	柴山 唯 議員		○
		2	土田 昇 議員		○
		3	大岩 勉 議員		○
6日(水)	午前	4	堀 勝重 議員		○
		5	大原 伊一 議員		○
	午後	6	齋藤 信行 議員	○	
		7	タナカ・キン 議員		○
		8	樋浦 恵美 議員		○
7日(木)	午前	9	小林 由明 議員		○
		10	山崎 雅男 議員		○
	午後	11	柳川 隆 議員		○
		12	田澤 信行 議員		○
		13	中山 眞二 議員		○
8日(金)	午前	14	岡山 秀義 議員		○
		15	長井由喜雄 議員		○

平成31年第1回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	柴山 唯 (一問一答方式)	1. 子育て支援について	(1) 子育てサポート活動について	① 合併前から燕市ではファミリーサポートセンター事業が開始され、長年、子育て世代の方々を支援してきたが、現在の会員数・利用状況などはいかがか。 ② 今後のファミリーサポートセンター事業の展望を伺う。
			(2) 利用者支援事業について	① 子育て支援事業を利用する市民の窓口利用を円滑化するために、窓口体制を拡充することが必要と考える。 そこで、国の子ども・子育て支援交付金のメニューの一つである「利用者支援事業」を活用し、保育コンシェルジュを窓口を設置して、子育て支援サポート活動や保育園等の利用調整に対して保護者へのきめ細かいニーズを把握し、寄り添った支援をすることが必要と考えるかがいかがか。
2	土田 昇 (一問一答方式)	1. 児童虐待とDVについて	(1) 市内の状況は	① 東京都目黒区(今年の3月)、千葉県野田市等々で児童虐待やDVは今や大きな社会問題となっているが、警察庁の2018年の犯罪情勢によれば、児童虐待の疑いがあるとして警察が児童相談所に通告した18歳未満の子どもは、8万104人と報道されている。統計がある04年以降初めて8万人を超えて、DVの摘発も昨年は9,090件で09年の5倍になったと、この点についても報道されました。 このような事件を受けて政府は、虐待防止に向けた閣僚会議を開き、1カ月以内にすべての虐待事案の緊急安全確認を行った。通告元の情報を提供しない新しいルールや、児童相談所の体制強化も加速すると決めているが、虐待に対する市内の状況と虐待を予防する方法についてどのような考えか伺う。教育長の認識について伺う。 ② 大阪府や埼玉県等9府県で虐待防止に関する条例が施行されている。東京都も2月20日開会の都議会に提案し、今年の4月1日から施行する方針としているが、今後、燕市としても検討する時期が来ていると思うがその認識について市長に伺う。
		2. 平成31年度新潟県当初予算(案)について	(1) 燕市の対応について	① 新潟県は2月13日に2019年度の県当初予算(案)を発表しました。その中で、教育、文化に関する予算では、いじめ対策を強化する予算として、 <u>4億5,451万円の予算を計上しています。</u> その内容は、 ・ 児童生徒のいじめ等対策強化推進費として、教育委員会、各学校のいじめ対策組織を再構築し、いじめから児童生徒を全力で守る体制を強化する予算として <u>58,465千円。</u> ・ 児童生徒がいつでも、何度でも相談できる体制を整備しますとして、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの配置で新たに公立小学校、特別支援学校にカウンセラーを配置する予算として <u>2億50,096千円。</u> ・ 相談窓口の充実としてSNS相談時間を延長するとともに、電話、メール相談窓口を教育委員会本庁に一元化する予算として <u>41,720千円。</u> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
2	土田昇 (一問一答方式)	2. 平成31年度新潟県当初予算(案)について	(1) 燕市の対応について	<p>・スクールロイヤー活用研究事業、弁護士による法的側面からのいじめ予防教育や法的相談を実施する予算 804 千円。</p> <p>・いじめ防止のための意識啓発に取り組みますとして、いじめ見逃しゼロ推進事業、学校、保護者、地域、教育委員会、県民の参加を促進する<u>予算 7,519 千円</u>が計上される予定になっています。燕市として、この予算の関係でどのように配分される予定になっているか、その対応について伺います。</p> <p>② 県央地域や佐渡市など 8 市町村を管轄する県中央児童相談所は、2017 年度に 525 件の通告を受け、そのうち 331 件を虐待と認定しているが、525 件、331 件の中に燕市に該当する案件が入っているか伺う。</p> <p>③ いじめ対策で課を新設したり、学校に専門の教員を配置する方向で検討されているが、現在、新学習指導要領の導入に伴う小学校の英語教育の充実などもあり、教員の負担は増していると思う。文科省の調査によれば、中学校教諭の 6 割、小学校教諭の 3 割は、月 80 時間以上の時間外労働が目安の「過労死ライン」を上回っていると報道されている。このような長時間労働の是正は急務であると思うが、市の状況はどのような実態か伺う。</p> <p>④ 県内の公立小中学校で、出産育児休暇、病気休暇の教諭の補充ができないで苦勞している報道がされているが、講師を探す市町村の教育委員会の担当者は「そもそも教師を目指す若者が減っている」「人材が民間に流れている」と指摘しているが、燕市の現状と今後の見通しについて伺う。</p>
		3. 原子力防災対策の推進について	(1) 今後の避難訓練の実施について	<p>① 2019 年度新潟県予算の中で、米山知事のもとで開始された「3つの検証」の経費が前年とほぼ同額で計上されているが、先に県が策定した「広域避難計画」の実効性を高めていくために、今年の 11 月にも「実動訓練」を実施するための予算約 3,280 万円が入っているが、市の「避難訓練」の計画はどうなっているのか伺う。</p> <p>② この 2 月補正予算には「原子力防災対策費」として要配慮者施設の放射線防護対策予算 2 億 7 千万円、原子力災害拠点病院に必要な施設整備予算 4 億 1 千万円が計上されているが、燕市に該当する予算が含まれているか伺う。</p> <p>③ 重点区域外の住民等に対する緊急時における安定ヨウ素剤の配備体制を整備するとして、UPZ 外を含む県内全域の必要数を調達し、県庁及び県内 8 保健所に備蓄済みとしているが、燕市の配布体制等々についてどのような計画か伺う。(モニタリングポストの設置についても伺う。)</p>
		4. 市役所庁舎の免震、制振オイルダンパーの不正について	(1) 昨年 10 月 26 日以降の対応は	<p>① 市は、設計、施工業者と連携を密にしながら情報収集を図り、KYB株式会社及びその子会社カヤバシステムマシナリー株式会社に対して、今回の不正に対し断固抗議するとともに、速やかな庁舎の構造安全性の検証と交換を行うよう、10 月 26 日付文書にて求めたところと答弁しているが、それ以後どうなっているのか伺う。(12 月の答弁書に従って伺います。)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	大岩勉 (一問一答方式)	1. 市長の政治姿勢について	(1) 燕市表彰式について	<p>①表彰者の出席が年々少なく虚しく盛り上げのない式典は対策を検討すべきではないか。特に消防団員の表彰参加者の少なさは異状と思われます。市長はどのように感じられているのか見解を伺う。</p> <p>②燕大賞表彰のスポーツ教育部門、ソフトテニス4名全員が欠席されたが、燕大賞の重さを鑑みれば、指導者などの代理人出席を要請されるべきではなかったかと思われるが見解を伺う。</p> <p>③日程、さらに会場の見直し、表彰式・式次第の見直しをするべきと思われるが市長の見解を伺う。</p> <p>④消防団員の表彰は、1月に開催される燕市消防出初式で挙行すべきと思うが市長の考えを伺う。</p>
			(2) 県央診療所費用加茂市負担要請について	<p>①加茂市に対して7回目の整備費一部負担の要請をされたが、加茂市長は三条市長を脅迫罪と詐欺罪で告訴せざるを得ないとまで発言されているが、燕市長も直接強い要請をされているのか伺う。</p>
			(3) 職員にスニーカービズの通勤・勤務の推奨を	<p>①業務に支障のない範囲で職員にスニーカーの着用を推奨する「スニーカービズ」を推奨したらどうか。動きやすく歩く機会を増やし、健康増進につながると思うが見解を伺う。</p>
			(4) 職員の住居費手当について	<p>①職員の住居費手当の支給状況と総額、札幌市などで問題視された親族間契約の住居費手当の状況を伺う。</p>
		2. 学校教育問題について	(1) 教員の多忙化対策について	<p>①自分の時間を犠牲にしている小中学校教員の多忙化解消対策に対し、教育委員会は議論し検討されているのか伺う。</p> <p>②県はすべての公立小中学校に「スクールソーシャルワーカー」を配置するよう拡充取り組みを示したことは確認されているか、燕市の現状を伺う。</p>
			(2) コミュニティ・スクールの導入について	<p>①学校運営に地域住民が参加する「コミュニティ・スクール」の導入について燕市は、どのように取り組み設置されているのか、関連予算化はされているのか伺う。</p> <p>②「コミュニティ・スクール」は地方教育行政法改正で、教育委員会が各校への配置に努める努力義務が盛り込まれていることは理解されているのか伺う。</p>
			(3) 小池中学校の防災教育と活動について	<p>①小池中学校の糸半プロジェクト活動が、先進的な防災教育を表彰する「ぼうさい甲子園」に参加応募し、奨励賞を獲得したことは素晴らしい活動と思うが、市内の他校も同様の取り組みをされているのか教育委員会に伺う。</p> <p>②地域との絆を育む活動は、中学校教育実習には大切なことと思うが教育委員会の見解を伺う。</p>
			(4) 市内小中学校の児童数の現状について	<p>①県内では児童数の減少傾向であるが、燕市の2018年度の児童数と2008年度の児童数の実態を伺う。</p> <p>②少子化に歯止めがかからない実態であり、他市町村では閉校や統廃合・複式学級も導入と聞くが、燕市の現状と将来展望を伺う。</p>
		3. 新生町市営住宅の老朽化について	(1) 老朽化している市営住宅の立て替えを	<p>①入居していない部屋・修繕を要する部屋も多くあり、今後どのような計画をされているのか伺う。</p> <p>②エアコンが古く故障している部屋も出ており、取替修繕を必要とする個所もあり、今後増える傾向と思われるが対策を伺う。</p>

発言の順序	発 言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
4	堀 勝重 (一問一答方式)	1. 子育て支援について	(1) 子育て支援施設等の環境整備の更なる充実について	<p>昨年の9月・12月の一般質問において、「子ども医療費助成制度の18歳高校卒業までの拡充について前向きな対応をしていただき、人口減少問題、少子高齢化社会が当市においても重要な課題である」とご理解いただいと認識しております。</p> <p>今回は、更なる子育て支援の充実を図るため、市が管理している子育て支援施設等の現状と課題、今後について伺いたいと思います。</p> <p>①子どもの遊び場として利用されている、市の管理施設について現状を伺います。</p> <p>②「こどもの森」の遊具や絵本等の設置状況・講座やイベント等の事業実施状況、加えて、人員配置・管理運営費・過去3年間の入館者数の推移など、運営状況について伺います。</p> <p>③「児童交通公園」現状と過去3年間の入園者数の推移など、運営状況について伺います。</p> <p>④「こどもの森」と「児童交通公園」の課題等と今後について市の考えを伺います。</p>
		2. 農業行政について	(1) これからの農業政策について	<p>先般、県では花角知事主宰の新潟県農業改革基本戦略推進会を開催し、米生産中心の一本足打法から脱却して、将来は十億円規模の園芸産地を目指す園芸基本戦略づくりに入られたようであります。</p> <p>当市においても、米生産中心の地域であり、農業従事者の高齢化や担い手不足など、多くの課題があると認識しております。</p> <p>①当市における米生産農家の経営状況や担い手問題等も含めた現状について伺います。</p> <p>②米生産のみの農業について市の率直な認識を伺います。</p> <p>③この度の県の動向を受け、市としてどのように認識し、また、どのように対応されていくのか考えを伺います。</p> <p>④当市における今後の農業のあり方と方向性について、市の考えを伺います。</p> <p>⑤今後、行政がこれまで以上に大きな役割を担っていくものと受け止めておりますが、市の考えを伺います。</p>
5	大原 伊一 (一問一答方式)	1. 財政問題について	(1) 31年度当初予算について	<p>①自主財源率の上昇もなく、財政の硬直化を示す経常収支比率も徐々にではあるが上昇傾向を示している。</p> <p>また、臨時財政対策債については、前年比1億1千万円の圧縮をしており大変努力をされた様子が見える。しかし、我が国の借金も減ることなく増え続け、財務省は財政調整基金を多く持っている行政には金を出さない方針に変化するのではないかと危惧する状況である。</p> <p>本市財政は、県内を見渡せば特段悪い状況とはいえないだろうが、今年度予算を含めた今後の見通しについて当局の認識を伺いたい。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
5	大原 伊一 (一問一答方式)	1. 財政問題について	(2) 幼稚園・保育園の無償化に対する今後の対応について	<p>①政府の方針として31年度10月より幼稚園・保育園の無償化が始まる予定である。少子化が止まらない状況の中で少しでも子育て環境改善にプラスになってほしいと思っているが、参考までに過去5年間の出生数と本年度の直近の出生数を伺いたい。</p> <p>また、31年度10月以降の無償化が本市財政に与える見通しについて公立園と私立園との違いについて伺う。</p> <p>②32年度以降の公立園と私立園との無償化が本市財政に与える見通しについて、公立園と私立園との違いについて伺う。</p> <p>③財政当局としては、公立園の負担増が見込まれる状況が長引くと、他の子育てや福祉政策等にメスを入れなければならないと考えるのか、財政豊かな燕市だからドンと来いといえる状況なのか伺う。</p>
		2. 幼稚園保育園の今後の在り方について	(1) 公立幼・保育園と私立幼・保育園の違いについて	<p>①燕市における公立幼・保育園と、私立幼・保育園の送迎を含めた基本的な保育にかかる保護者負担の違いについて伺う。</p> <p>②公立・私立における保育士・幼稚園教諭の定員や人数に対する配置の違いについて伺う。</p> <p>③多くの公立幼・保育園の施設が老朽化して大改修か建て替えか待ったなしの状況を迎えている。公立保育園の改修や建て替えに対する国の補助制度はあるのか伺う。</p>
			(2) 幼児の多様な保育環境整備のために民間の柔軟な発想を取り入れる必要性について	<p>①10万人を超えるような多くの市町村は、幼稚園・保育園の公立はほとんどなく、私立園で民間の競争原理が当たり前になっているが、本市は合併10年を過ぎ、市民の中にも多様な働き方をしている保護者が増えている実態を見れば、土・日曜日の保育も柔軟に対応している私立保育園の誘致に力を注ぐべきでないのか伺う。</p> <p>②公立幼稚園・保育園の民営化スケジュールを市民に示し、子育て世代にゆとりを持てる子育て環境を作り上げることが、多様な働き方で頑張っている子育て支援になると考えるが教育長の考えを伺いたい。</p>
		3. 農政問題について	(1) TPP11と日欧EPAの発行に伴い本市農業に与える影響について	<p>①TPP11と日欧EPAの発行に伴い、これから多くの苦難が待ち受けている農業の実態について、専業に近い形で営農をしている経営者の年代別の状況を伺う。</p> <p>②平成25年度から平成30年度新規就農者年代別の数をお聞かせ願うとともに離農件数の推移について伺う。</p> <p>③県が新たに園芸導入に力を注ぐとしているが、本市として園芸導入の取り組み強化をどのように進めるのか、基盤整備に伴う畑作化可能な圃場整備を進めていくのか伺う。</p> <p>④上記項目を踏まえて、TPP11と日欧EPAの発行に伴い本市農業に与える影響について、担当部局はどのように捉えているのか、本市の30年度農産物の売上げに対し、31年度から35年度の間の影響を見積もっているのか、また、10年後の本市農業の姿をどのように捉えているのか伺う。</p>

\$Ō b 8pĭ	\$Ī 0• M • 1Ÿ (2A e8o% >& ±8o% >'	2A e0[" " >& p8o% >'	½ / \$x ^ Æ >& ` 8o % >'
6	齋藤 信行 (一括質問一括答 弁方式)	1. 中心市街 地活性化に ついて	(1) 中心市街地 の空き店舗に ついて (2) 中心市街地の 活性化の取り 組みについて	q w Æ>1... b w/α ... b'5 A Ñ+Ô _ X 8 Z w c] b&i Ø b"g # [6 • b ? 1 1 ' l ∈ Z 8 • b ? 8 r M r w Æ>1... b w/α ... b'5 A Ñ+Ô [Ñ I ∈ S £ î « @] b C } 8 6 • b ? v 8 r M q w Æ>1... b w/α ... b v ~) s c] : ^ W Z 8 • b ? Q K Z Q b ! [Ÿ @ Z 8 • b ? ½ / [@ 6 ~ r K S } ò F Z C T I 8
		2. 空き家 について	(1) 空き家の状 況について	q # ' ~ b'5 A b " g # _ X 8 Z 8 r M r'5 A b w < # Ÿ _ X 8 Z 8 r M s'5 A Â â j \$ x ^ # ' ~ b " g # c] : ? 8 r M
		3. 教育に ついて	(1) 教育の現在、 過去、未来に ついて	q M * ñ 6 x c > 1 ° 6 ë b ~ ò p [! é b M * ñ b # " g 1 " 8 Ÿ Ò < b % ¥ ö †] b : _ > * f < ? 8 r M
		4. 燕市小中 学校いきい き課外活動 の在り方に 係る方針に ついて	(1) 方針のねら い、特徴、周 知について	q % 5 * † Ç K S) < \ a } 8 _ X 8 Z 8 r M r • w b % 5 * c , * 0 [v ± A C v ~ V F } ∈ S @ Q b % 5 * b " I © _ X 8 Z 8 r M s p Ū # Õ x Q b - 1 α * ... w , l b Ø % ± †] b : _ * f < Z 8 • b ? 8 r M
7	タナカ ・キン (一問一 答方式)	1. 与右衛門 無言館活 性化事業に ついて	(1) 与右衛門無 言館につ いて (2) 認定審査会 につ いて	q , 6 ë j Ū ~ » Ç " â 1 • â ø - ! \ K Z 1 I ∈ S Z ' / 6 Ū ! " 0 • 9 [M @ j S b # ä ¶ _ X 8 Z > * 0 A K S 8 r G b < 0 ç b % \$ x _ X 8 Z > * 0 A K S 8 s % \$ ä Â) F 8 § r b 2 (q 9 \ 8 W Z 8 r M @ É ß a T M j ° b) Ó [c Q b : ^ 2 (q b x % ? @ 6 ~ r O † # . # ä _ X 8 Z > * 0 A K S 8 t Q v Q v G b < 0 ç c * > / j 9 \$ " @ 9 2 (q 9 b : U] ∈ _ ō ñ \ M • b ? > * 0 A K S 8 u 1 2 v [b) r » e M - ò \$ ([! " 0 • 9 b Æ † % ± • S u _ ã ä Ç Þ μ ° b 4 Ä x † Ó u r K S ± È Þ μ ° b p _ ! b 0 ò (Ÿ @ ° W Z 8 • b _ ; ò W Z 8 S # . # ä _ X 8 Z > * 0 A K S 8 v ! " 0 • 9 c 1 1 v ? } > 1 v Ž r [ä Ø 9 [M i b † 6 ë @ 1 2 v ? } > 1 v Ž r [\ ^ W Z 8 Z 6 ö ° @ 6 W Z v 0 { • G \ @ [A r O † a K > ? K 8 \ î 8 r M @ ! † 6 ë b # . # ä _ X 8 Z > * 0 A K S 8 w > 0 v 1 8 ¥ # ' ~ \$ 7 C * ... > / j [5 8 c > 0 S Ç \ Y 1 * [6 • @ 0 [l _ X 8 Z] : * f < Z 8 • ? > * 0 A K S 8 x † 6 ë @) ø K S < G b ! c] : Ž 6 ä l ∈ Z 8 C b ? > * 0 A K S 8 q B (b M Ç [6 • j w 6 x c Ž & g _ X 8 Z g Ō ^ @ } & ¾ b o Í 8 • c U { W \ 4 * : b [' \$ x ^ ! ! X c ° € } ∈ ^ ? W S \ Ä K Z 8 r M 3 ū ^ } \ ! b μ \ 8 : G \ T \ î : @ Q : K ^ ? W S # . # ä _ X 8 Z > * 0 A K S 8 r Ū b B ((ū # 1 2 ; 4 Š 6 x) r » 4 Š 6 x # Ø ú + Æ 4 Š 6 x M * ñ 6 x) b Ū ō v > * 0 A K r M s B (_ Ū , A († ° € ^ ? W S # . # ä _ X 8 Z > * 0 A K S 8 > & î î a l) F C > '

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 与右衛門無言館活性化事業について	(3) 今後の無言館と市の関係について	<p>①この施設を見学したが、白熊の他にパンダのハク製が2体あり、燕市PR副大使のパンダの与七は浅草に出張中という紙が写真と一緒に貼られていた。パンダのハク製が燕市PR副大使に任命された経緯をお聞きしたい。</p> <p>②市長は子どもたちが、この施設で学ぶ機会を作れるよう検討していきたいと「市長の日記」の中で話されている。パンダや白熊等のハク製は、動物虐待のシンボルとも言える。教育上よろしくないと考えがお聞きしたい。</p> <p>③市は、無言館から60点の美術品の寄附を受けている。大量の美術品を受け入れた理由についてお聞きしたい。</p> <p>④現在、保管はどうしているのかお聞きしたい。</p> <p>⑤今後、市は「無言館」とどう関わっていくのかお聞きしたい。</p>
8	樋浦 恵美 (一問一答方式)	1. 災害対策について	(1) 地区防災計画について	<p>①東日本大震災を教訓に、自治会などの地域コミュニティが災害時の避難方法などを自ら立案する「地区防災計画」が、平成26年4月に導入されました。</p> <p>地域の特性に応じ、地区の範囲や活動について柔軟に規定できる制度となっています。</p> <p>災害発生時には自治体や消防の「公助」が行われますが、より減災に大きな役割を担うのは、「自助」であり「共助」であります。今後、各地域で地区防災計画の策定が進むことが、市全体の災害対応力の向上につながると考えますが、地区防災計画に関する認識と、策定状況について伺います。</p> <p>②地区防災計画の制度の普及・啓発活動についての考えを伺います。</p>
			(2) マイ・タイムラインの作成について	<p>①200人を超える死者・行方不明者を出した昨年夏の西日本豪雨では、気象の変化や避難の必要性に関するさまざまな情報が自治体などから発信されていたが、必ずしも避難行動につながらず甚大な被害をもたらしました。水害や土砂災害に際し、住民が迅速な避難行動を取ることが重要であります。</p> <p>「マイ・タイムライン」は、災害時に自ら取るべき行動を時系列にまとめておくものです。作成作業を通じて避難意識を高める効果も期待できると考えますが、「マイ・タイムライン」についての考えを伺います。</p>
			(3) 外国人への情報伝達について	<p>①災害時における外国人への情報伝達について、どのように対応されるのか考えを伺います。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の 順序	発言する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小 項 目)
8	樋浦 恵美 (一問一 答方式)	2. 健康対策 について	(1) 成人風し ん予防接種事 業について	<p>①風しんの感染拡大防止に向け、1962年4月2日～1979年4月1日生まれの男性を対象に、2019年度～2021年度末までの3年間、抗体検査と予防接種が原則無料化されます。抗体検査を受け、免疫が十分ないと判断された場合、予防接種を受けることとなりますが、検査の対象となる人数について伺います。</p> <p>②検査の対象となる男性は働き盛りの世代でもあり、平日の日中に検査を受けることが難しい人も多いと思われれます。厚生労働省は「休日・夜間の医療機関や職場の健診などの活用をめざす」としてはいますが、本市の対応について伺います。</p>
9	小林 由明 (一問一 答方式)	1. 子育て関 連施策につ いて	(1) 子育て関連 施設の防犯体 制について	<p>①子育て関連施設における防犯について、どのような方針を持ち、どのような取り組みを行っているか。</p> <p>②犯罪抑止や事件事故の早期解決のため、防犯カメラや玄関扉等のオートロックシステムの導入を進めていくべきではないか。</p>
			(2) 子育て支援 センターと子 育てサークル 支援について	<p>①子育て支援センターでは現在、行政がカバーしきれないさまざまな子育て活動を行う、子育てサークルの支援を行っている。</p> <p>少子化の進行と、子育て支援センターなどの取り組みが充実していく中では、サークルやその活動が減少していくと思うが、一方では、行政では現在は取り組めない、取り組みにくい、専門性や特殊性のある特徴的なサークル活動は増加していくものと考えている。</p> <p>これらの活動は、子育て環境に求められる多種多様な環境の構築と行政サービスを補完するものであり、その活動支援がなされるべきものと考えているが、子育てサークル支援に対する市の姿勢と、子育て支援センターが果たすべき機能についてどのように考えているか、改めてお伺いしたい。</p> <p>②サークル活動支援のために、サークル立ち上げのポイントや、サークル活動のできる場所、各種助成金、補助金など、運営に必要な情報提供をウェブサイトで行うとともに、土日等休日も開設している支援センターにおいては特に、サークル活動の相談や手続きなどができるよう、十分な職員体制をとるとともに、利便性と機能の向上に取り組んではどうか。</p>
		2. 定期露店 市について	(1) 露店市の現 状と今後につ いて	<p>①露店市は、市民交流を生み、経済活動を刺激し、また、商店の減少や高齢化の進行、そして、自動車運転免許返納の進む現在では、買い物難民を発生させないための社会インフラの一つという声もあるが、市は露店市の意義についてどのように考え、現在の状況をどのように認識し、その今後についてどのような考えを持っているのか。また、どのような取り組みを行うべきと考えているか伺いたい。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	小林 由明 (一問一答方式)	2. 定期露店市について	(1) 露店市の現状と今後について	<p>②特定空き家や放置された空地問題の解消と、空き店舗の活用など地域の賑わい創出のために、空地や特定空き家を公園に整備することで露店の出店を可能にし、また、空き店舗、店舗内スペース、空き倉庫などの活用の一手法として露店市のあり方に目を向け、露店市と地域との新たな展開を模索してはいかがか。</p> <p>③三八市に対してはこれまで、来客増を通じて商店への立ち寄りを増加させるための賑わい創出を求める声がある一方で、通行止め解除の時間を早めてほしいという声や、穀町及び仲町の旧市営駐車場下交差点から燕橋下交差点にかけての道路は通行止めせず、一般車両の通行と商店や露店利用者の駐車スペースを確保してほしい、また、全天候対応型のいちびの環境を構築してほしい、といったさまざまな意見が議会や商店街、利用者や露店出店者などから出されてきているところである。</p> <p>そうした中、最近では露店出店者と商店、そしてそれらの利用者などとの間で、利害対立が顕在化して来ていると感じている。今後のよりよい環境を構築するためには、関係者が会し、現在の三八市の課題を共有し、その解決や改善に向かうための具体的取り組みを話し合う場を設ける必要があると考えるがいかがか。</p>
10	山崎 雅男 (一問一答方式)	1. 吉田南地区用途地域拡大に向けて 2. 吉田駅前に吉田交番移転について	(1) 吉田南地区土地有効活用により地域振興・活性化することについて (1) 地域の治安維持と防犯力の維持向上を図ることについて	<p>①燕市の将来都市構造である「コンパクト都市」実現に向け、吉田南地区約8.6haの当該地の農振除外、用途拡大に向け、吉田南土地区画整備事業が一日も早く実現するよう動向を伺う。</p> <p>②宅地開発等の計画が明らかな区域である吉田南地区。下水道事業計画区域である吉田西太田地区開発予定地域(11.1ha)は集合処理区域の判定であるが、吉田南地区約8.6haの農地を農業振興地域から除外して、用途地域拡大に向けた取り組み、進捗状況を伺う。</p> <p>③吉田南土地区画整理事業である、農振除外吉田南地区約8.6ha 予定地の将来に向けた事業の取り組みについて展望を伺う。</p> <p>①昨今、燕市内に不審火が多発し、抑止効果目的の防犯カメラを設置するも解消には至っていない。</p> <p>吉田駅前を中心とする周辺には、駐輪場、学習塾、金融・医療機関はもとより、飲食店等々がある。その辺りには空き家・空き店舗があり不安を抱いている周辺住民は少なくない。</p> <p>近傍には越後線巻駅前、弥彦線燕駅前には交番があり、吉田駅は越後線・弥彦線と乗り入れ2路線がある。統計年度2017年に1日1,514人(降車客含まず)利用しているが吉田駅前には交番がない。交番の存在があれば安心感で賑わいを創出する可能性を秘めているが、吉田交番設置に対しての認識と捉え方について伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	山崎 雅男 (一問一答方式)	2. 吉田駅前 に吉田交番 移転について	(1) 地域の治安 維持と防犯力 の維持向上を 図ることにつ いて	②越後線以西である吉田市街地に警察施設が存在していない。 市街地に詰め所を設けることにより、周辺地域の治安維持と住民の利便を図られるものと思われる。 警察・燕市・地域住民が一体となり安心して暮らせる地域社会に向けて、吉田中心市街地に相応しい商業と住環境整備を進めるとともに、目立つ場所に設置することで体感治安を向上させる。 吉田駅前の治安向上へ国道 116 号沿いから吉田交番移転の必要性を感じるが、市として県・警察署への移転に向け働きかけをすることはできないか認識と見解を伺う。
		3. 学校環境 衛生の充実 について	(1) 日常におけ る学校環境衛 生について	①多数の人が使用または利用する大規模な建築物の維持管理に関する法律として通称「建築物衛生法」がある。 同法及び政令において、学校等の用に供される建築物で規模を有するものを「特定建築物」として定義しているが認識、捉え方について伺う。 ②学校保健安全法、告示「学校環境衛生基準」において、教室等の環境管理は、換気・保温・採光・照明・騒音等適切な環境維持に努めるべきとあるが、燕市内小中学校の環境衛生基準はどうなのか。 また、空気環境・給水・排水管理や清掃・廃棄物処理等、建築物環境衛生管理基準、管理方法について伺う。
11	柳川 隆 (一問一答方式)	1. 市長の政 治姿勢につ いて	(1) 時代認識の こと	①政治や行政の施策はその時代の合わせ鏡と言ってよく、もろにその時代が投影されているものと思われる。平成最後の定例会なので、この三十年というのはどういう時代であったのかを考察するのは、次の時代を予測するうえでも意味のないことではないので伺う。
		2. 健康増進 法の一部を 改正する法 律について	(1) 受動喫煙防 止のこと	①職員への喫煙等のアンケート調査の内容と結果について、その概要を伺う。 ②本庁舎に現在ある屋外の喫煙場所は第一種施設に該当するということが、どのような措置が取られるのか伺う。 ③市の方針案によれば、職員は午前中 3 時間、午後 4 時間禁煙状態になる。その反応によっては仕事にも支障をきたすのではないかと伺う。 ④昼休み時間、喫煙する職員は敷地外の道路にマイカーを止め、その中で喫煙が予想されるが、その車の数が多いほど見た目も悪く、道路状況にも悪影響を及ぼすことが懸念されるが伺う。 ⑤以前いただいた資料の最後に参考として出ている三つの施設は、現在喫煙室が設置されているが、どうなるのか伺う。 ⑥第一種施設と第二種施設の境界のあいまいさや、細部の指針が今のところ分からないとのことであるが、それらが明確になったらそのとおりにやるということなのか伺う。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	田澤 信行 (一問一答方式)	1. 人口ビジョン総合戦略について	(1) 自然増減と社会増減について	①人口の将来展望における戦略的推計数値では、2020年まで年平均 340 人程度の減少を考えており、1 月末の人口 79,738 人となっているが、この事態が燕市の最大の課題であり、その課題改善に最大限の資源を投資すべきと考えるが、いかがお考えか伺います。 ②社会増減の推移と傾向について、どのように分析しているのか、また、減少改善のために総合的な見地でのように考えているのかを問う。
			(2) 重要業績評価指数 (KPI) について	①2020 年を目標とした重要業績評価指数 (KPI) で、すでに目標値を達成している、またはほぼ達成可能なもので大きな成果があったと言える施策について、どのように分析しているかを問う。 ②2020 年を目標とした重要業績評価指数 (KPI) で目標値を大きく下回るもので、何が原因で成果につながらなかったのかを問う。
			(3) 企業誘致について	①人口ビジョン総合戦略には、既存産業の活性化につながる施策が講じられているが、IT 関連企業など新規産業の誘致活動が謳われていないのはなぜか問う。
13	中山 眞二 (一問一答方式)	1. 人件費について	(1) 人口減に対応した職員の適正数について	①将来人口 7 万人、6 万人のまちに対応した職員の適正数について ②同じく人口減に対応した人件費について ③指定管理で委託費はどのくらい増え、それに対応した人件費はどのくらい減ったか。 ④市職員の役割はどう変わってきているか。
			(2) 仕事の効率化と人の有効活用について	①残業について ②無駄な仕事、しなくてもいいような (重要でない) 仕事など、業務内容の精査はしているか。 ③仕事の効率化をどのように図っているか。
			(3) 将来計画について	①以上を踏まえ、今後の職員数や、仕事内容についてどうあるべきかという基本方針や、基本計画を持っているか。また、その必要性について。
		2. 地域社会について	(1) アパート世帯の管理体制について	①現在のアパート数と住んでいる住民数は。 ②住民票のある人となない人の把握状況 ③アパート管理はどのようになっているのか。またアパート管理者 (会社) と自治会 (会長) と連携について。
			(2) 自治会組織のないところの対応について	①自治会組織のないところの対応について。 ②自治会のないところの住民、またアパートの住民への情報提供に対して、その住民からの要望などはどのようにフィードバックされているのか。 ③自治会のない地域の側溝管理や、防災組織、一人暮らしの方の緊急措置はどうなっているのか。 ④産業団地、また、県央などの商業地区などの自治会のないところの対応について。
		3. 産業について	(1) 景気動向について	①燕の景気動向について、産業振興部はどのようにとらえているか。
			(2) 産業政策について	①小関産業団地造成の進捗状況について ②産学協創スクエアの活動と就職実績について
		4. 環境整備について	(1) 小高霊園の環境整備について	①砂利道で、車いすで行けないという苦情があるが、簡易舗装ができないか。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
14	岡山 秀義 (一問一答方式)	1. 県立吉田病院改修について	(1) 診療機能・規模について	<p>① 長年にわたり老朽化や耐震基準を満たさない施設のため、早急な改修が必要とされてきた県立吉田病院であるが、市長をはじめ吉田病院整備基本計画策定委員会の皆さまのおかげにより、ようやく現在地での建て替えが固まりました。</p> <p>県への要望の中にあるように、県立吉田病院の特色でもある「消化器系疾患診療」「人工透析」「子どものこころの診療・小児慢性疾患診療」機能の維持充実化とありますが、その他の診療科についてどのようにお考えか伺います。</p> <p>② 今後さらなる高齢化が進む中、県立吉田病院の役割は燕・弥彦地区では、ますます重要性の高まる医療機関となります。</p> <p>改築後の県立吉田病院と医療法人愛広会が整備する病院の両病院合わせた病床数について、現在の県立吉田病院が有する病床数(許可病床数199床)以上の確保と要望にはあるが、県立吉田病院のみの病床数についてどのようにお考えか伺います。</p>
			(2) 医師会との連携について	<p>① 現状、どこの病院でも担当医の先生が何曜日にしか来られない、医師の確保が難しいとの声をよく聞きます。県立吉田病院に関しては看護専門学校、特別支援学校もあり、それ相応の体制が必要であります。</p> <p>県立吉田病院、県央基幹病院と同時期の病院建設、改修にあたり医師会と連携して医師の確保がしっかりとできるのか、話し合いは進んでいるのか伺います。</p>
		2. スポーツ振興のあり方について	(1) 燕市スポーツ推進計画について	<p>① 本市においては平成24年度から平成33年度までの10年間「燕市スポーツ推進計画」を策定し、市民の誰もがそれぞれの年齢、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現を目指してきました。本計画成果について伺います。</p>
			(2) 施設の利用状況について	<p>① 市民が体育館を使いたくても使えないという声を聞きます。また、燕市の利用料が他市より安いと、市外の方の利用が多いという声も聞きます。</p> <p>燕市体育協会・ミズノグループの管理する市民体育館の利用状況について伺います。</p> <p>② 改修工事が終わった新しい体育館を、大人が使うと傷むからと使わせていただけないという施設がありますが、市民のための施設であると考えます。改善策について伺います。</p> <p>③ 市内小中学校のグラウンドでは、子どもたちが授業や部活で元気一杯走り回っている姿を目にします。しかし、近年では老朽化、強風などにより土が飛ばされ、グラウンドには碎石が出ています。子どもたちの安全・安心にスポーツができる状況ではありません。今後の対策について伺います。</p>

発言の順序	発言する員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
15	長井由喜雄(一問一答方式)	1. 燕市奨学金にも「機関保証」を	(1) 燕市の奨学金にも「機関保証」を	①日本学生支援機構の奨学金には「機関保証」制度がある。自治体における奨学金の「機関保証」の例はあるか。現在、燕市における奨学金利用者数、利用額、返済遅延者数、貸付年度による遅延率はどうか。自治体同士の協力、金融機関等への働きかけで「機関保証」の制度を設けてほしいがいかか何う。
			(2) 連帯保証人を市外在住者に広げることについて	①現在、連帯保証人は二人とし、一人は「申請者の保護者等」、もう一人を「市外に住所を有し独立した生計を営む65歳未満の人」としているが、その理由について何う。
		2. 燕市の放課後児童クラブについて	(1) 放課後児童クラブの現状と「なかまの会」の位置づけについて	①現在12カ所18児童クラブが公私合わせて運営されている。燕市にはこの他5小学校で「なかまの会」が運営されているが、両者の位置づけはどうなっているのか。また、わか竹児童クラブを最後に児童クラブへの移行はされていない。どう考えているか。
			(2) 「なかまの会」の児童クラブへの移行について	①燕地区の児童クラブ設置校は4/8校、吉田地区4/4校、分水地区2/3校で、平成29年度事務報告による小学校在籍児童数に対する児童クラブ利用者率は、燕地区29.7%、吉田地区22.0%、分水地区21.3%となっている。 燕南小学校は214人の児童がおり、「なかまの会」の登録率も高い。燕地区の児童クラブ利用率は29.7%であり、これを当てはめると64人の利用となる。児童クラブに移行してはいかがか。
		3. 国の保育制度改変の影響について	(1) 3歳以上児の保育料無償化の一方で「副食費」を有償とすることについて	①低所得者の負担にどう影響するか何う。
			(2) 公立園の無償化財源を自治体に求めていることについて	①燕市においてはこの影響額をどう見ているか何う。
		4. 市役所力強化のために	(1) 正規職員と非正規雇用職員バランスの現実的影響について	①正規職員と非正規雇用職バランスの現実的影響について何う。
			(2) 「会計年度任用職員」化に伴ってどう変わっていくか	①現在の非正規雇用の「運用」「勤務条件等」は具体的にどう変わっていくのか何う。
			(3) 学校介助員、学校管理員の時給単価の差別化解消を	①学校介助員と学校管理員などの「臨時的任用職員」は「代替職員が必要な場合に期限付きで採用」と規定しているが現実には常態雇用となっている。一方保育士などは「非常勤職員」の位置づけで、「正規職員などの補助的業務に従事」する者とし、時給単価などが差別化されている。使い分けの根拠は何か何う。 (次ページへ続く)

発言 の 順序	発 言 す る 議 員	質 問 項 目 (大項目)	質 問 要 旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
15	長井 由喜雄 (一問一 答方式)	5. 下水道事業 の大転換問 題	(1) 下水道計画 区域と区域外 の汚水処理の 現状について	①国の下水道事業の大転換によって、現行の下水道整備 計画区域以外は下水道接続の可能性がなくなった。 現行の整備計画が終了する時点で、計画区域内にある 世帯数と区域外の世帯数はどうなるか。また、現在の計 画区域と区域外の合併浄化槽の敷設件数はどうか。
			(2) 下水道計画 区域と区域外 の汚水処理条 件の公平性に ついて	①大転換によって下水道整備区域に住む人と区域外に住 む人の汚水処理にかかる条件が大きく違っていくと認 識している。 下水道接続の年間件数と予算、今後の合併槽敷設の件 数及び予算はどうか。また、新築による合併槽敷設にお いては「補助」は出るのか伺う。